

# ひょうごの 赤十字



2017. 1月  
January

## 平成29年新春メッセージ

### ～ 兵庫の未来を切り拓く ～



日本赤十字社兵庫県支部  
支部長(兵庫県知事)

井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。

近年の世界協調の流れが、今年、大きく変わる可能性があります。特にアメリカの新体制の動きやイギリスのEU離脱交渉、原油等資源価格の動向、これらに伴う為替の不安定化などが懸念されます。先行きの不透明感が高まる中、いかなる情勢の変化にも対応できるよう、足元を固めなければなりません。

国内では、少子高齢化に対応した社会システムの構築が待ったなしの課題です。日本全体の活力を低下させる東京一極集中にも歯止めをかける必要があります。

人口が減少し、少子高齢化が進もうとも、安定し、活力を保ち続ける地域を創っていかねばなりません。地域創生の取組を軌道に乗せていくことが今年の県政の大きな課題です。

第一は、安全安心の確保。福祉、医療の更なる充実により、2025年問題に挑み、安心して暮らし続けられる地域を創りましょう。防災・減災対策を着実に推進し、来るべき災害への備えに万全を期しましょう。

第二は、県民の活躍促進。高齢者、障害者、女性、若者などすべての県民が能力を発揮できる環境を整えるとともに、教育の質を高め、ふるさと人材の確保を進めましょう。

第三は、産業の活力増進。更なる企業集積に取り組み、新事業展開や起業を後押ししましょう。また、農林水産業を成長産業と位置づけ、イノベーションを興しましょう。

第四は、交流の拡大。交流人口の増加で地域に賑わいを生み出しましょう。兵庫五国の多様な資源に磨きをかけ、国内外から人が集う地域を創りましょう。

1868年の兵庫県発足から150年の節目の年が近づいてきました。

今こそ、これまでの兵庫の歩みを振り返り、次の一步の足がかりとなる新たなビジョンを描くときです。そして、県民の皆さんの夢と地域への思いを結集し、兵庫の未来を切り拓く。さあ、新しい地域づくりのステージへ、ともに一步を踏み出しましょう。

ふるさとの 発展めざす 地域づくり 一人ひとりの 決意に依らん





## 平成28年兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催

11月30日、兵庫県公館にて「平成28年兵庫県赤十字有功章等贈呈式」を開催しました。本式典は、日本赤十字社の活動のために多額の活動資金や奉仕活動、献血などで日頃からご協力いただいている方々に感謝の意を表し、日本赤十字社や国の表彰を贈呈（伝達）しています。



今回は586の個人・法人・団体の方々が受章され、井戸支部長らから金色有功章などが授与されました。

また式典に引き続き、姫路赤十字病院の高原美貴看護師が『中東地域紛争犠牲者支援事業～ヨルダンCBHFA(地域住民参加型保健)事業～』と題し講演を行いました。



式典の司会を担当した兵庫県立明石高等学校放送部の谷許日菜子さん(右)と鬼山真葉さん(左)

## 高原看護師が「第1回貝原俊民美しい兵庫づくり賞」を受賞

平成26年に亡くなった貝原俊民前兵庫県知事の業績をたたえ、共生や安全安心なまちづくり、地方自治の分野で活動し、今後も一層の活躍が期待される個人・団体を表彰する「第1回貝原俊民美しい兵庫づくり賞」に姫路赤十字病院の高原美貴看護師が選ばれ、11月21日に表彰式が行われました。

この賞は、貝原前知事が理事長を務められた一般財団法人「地域政策研究会」が今年7月に創設。



国内外の災害や紛争被害者救援などへの取り組みが認められ、今回の受賞となった高原看護師は、「活動で得た経験・知見を後輩看護師などに伝えて後進育成に努めると共に、講演などを通じて、県民とりわけ若者への啓発にも努め、共助・減災社会の構築やグローバル世代における青少年の育成に寄与したい」と今後の抱負を語っていました。



高原看護師と受賞を喜ぶ支部長はじめ赤十字関係者



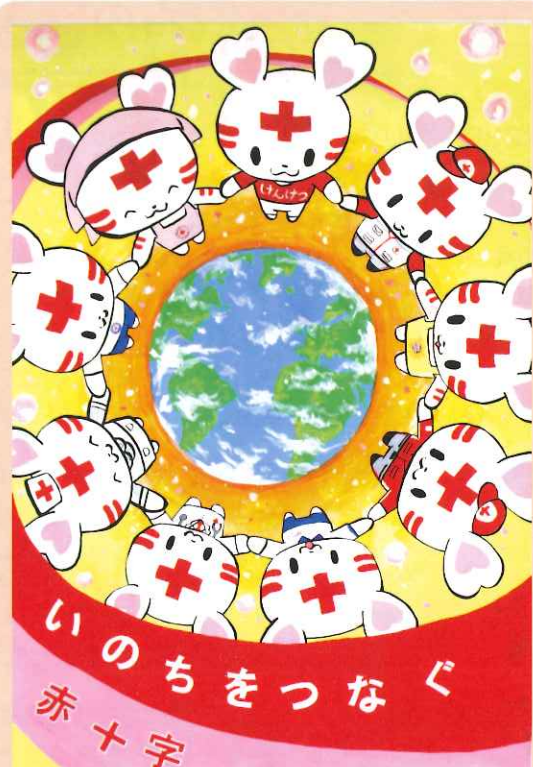
## 平成28年度赤十字 ポスターコンクール 受賞作品が決定

次代を担う皆さんが生命の大切さ、助け合いの大切さなどを考えるきっかけになればと募集した「平成28年度赤十字ポスターコンクール」の受賞作品が決定しました。

今回は県内の小・中・高・特別支援学校63校から402作品が寄せられ、厳正なる審査の結果、災害救護活動をはじめ国際救援活動、赤十字病院、献血など「いのちを守る赤十字の活動」をテーマとした60作品が選ばれました。

受賞作品は、当支部ホームページでご覧いただける他、県内各地での展示も予定しています。展示場所は随時ホームページでお知らせいたします。

なお、表彰式は11月30日に開催した「平成28年兵庫県赤十字有功章等贈呈式」の中で行われ、井戸支部長から表彰状等が授与されました。



「最優秀賞」を受賞した兵庫県立姫路工業高等学校  
2年三輪寧々さんの作品



## お互いの違いを認めることで広がる世界

～平成28年度青少年赤十字国際交流事業～

日本赤十字社では、国際理解と親善を目的に、アジア・大洋州地域の青少年赤十字(JRC/RCY)メンバーを日本に招き、日本の高校生メンバーと交流を深める青少年赤十字国際交流事業を行っています。

10月29日～11月3日、マレーシア赤新月社から青少年赤十字メンバー2人が来県。青少年赤十字加盟校である兵庫県立国際高等学校での体験授業やJRC部メンバーとの交流会、メンバー宅へのホームステイ、世界遺産姫路城の見学などを通して、お互いの文化を理解し親睦を深めた他、人と防災未来センターの見学で、阪神・淡路大震災や日本の防災への取り組みについても学びました。



マレーシア赤新月社メンバーと兵庫県立国際高等学校JRC部メンバーの皆さん

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています **活動資金にご協力をお願いします**



平成28年度  
新たな災害救護支援センターを整備!!  
大規模災害に備え、全国各地の被災地への支援や全国からの受援の拠点となる施設の整備を計画しています。(場所:三木市)

郵便局・ゆうちょ銀行からのご協力いただけます



口座記号番号：01110-0-1136  
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



赤十字奉仕団

## 兵庫県声の図書赤十字奉仕団がリスナーと交流

11月23日、全国の視覚障がい者(リスナー)の方々に、月刊誌や図書などをテープやCDに録音し、届ける活動を行っている兵庫県声の図書赤十字奉仕団が、27回目となるリスナーの方々との交流会を開催しました。

聞き覚えのある声に親しみ感も加わった和やかな雰囲気の中、食事会やヴィオラ(大正琴を基にした弓で弾く楽器)コンサート、歓談などで交流を深めておられました。

参加されたリスナーの方々から「久しぶりに会い、たくさんお話しができて楽しかった」「迷ったが参加して良かった」など、楽しい時間を過ごしていただくためにミーティングを重ねてこられた交流会実行委員の方々にとって嬉しい言葉が聞こえました。



交流会には総勢177人が参加



国内災害救護

## 原子力災害に備え研修会を開催



防護服の着脱方法を学ぶ救護班要員

福島第一原発事故の際、各救護班要員の放射線知識が不十分であること、放射線下での行動基準や防護資機材の未整備により、県外から派遣されていた日赤救護班が一時撤退を余儀なくされました。この反省から、日本赤十字社では、赤十字原子力災害情報センターを発足するとともに、防護資機材の整備や研修会を開催しています。

11月26日、第4ブロック(近畿2府4県)では初めてとなる「日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会」が開催され、兵庫県支部からも救護班要員などが参加。放射線環境下での救護活動に安全かつ安心して従事できるよう、基本的な知識と防護資機材の使用方法を習得しました。兵庫県支部では、多様化する災害に備え、今後もさらなる災害対応力の充実と強化に努めます。

お知らせ

### 「1.17は忘れない ひょうご安全の日のつどい」のご案内

風化しがちな防災意識を新たにするとともに、震災の経験と教訓を語り継いでいく「ひょうご安全の日のつどい」に参加協力します。ぜひご来場ください。

日にち:平成29年1月17日(火) 場所:なぎさ公園周辺(神戸市中央区脇浜海岸通)※時間、内容などはホームページでお知らせします。

## 講習のご案内

救急法救急員養成(2日間受講)

2/25(土)・26(日) 9:30~17:30 ※受講対象は基礎講習修了者

救急法基礎・救急員養成(3日間受講)

3/5(日)・11(土)・12(日) 9:30~17:30

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

幼児 安全法	乳幼児の災害時支援 3/3(金) 10:00~12:00	幼児 安全法	乳幼児の一次救命処置(PBLS) 3/3(金) 13:00~15:00
健康 生活支援	認知症高齢者への対応 3/25(土) 10:00~12:00	健康 生活支援	リラクゼーション・癒しのハンドケア 3/25(土) 13:00~15:00

◇申込期日は開催日(初日)の1カ月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

お問い合わせは、お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)